

多文化共生イノベーション研究育成フェロ- シップ° (MIRAI) 奨学生 募集要項

(2021年4月募集)

1. 募集対象者

2021年度に博士後期課程に入学を予定する者、かつ、2021年4月1日時点での年齢が30歳未満である者。

ただし、以下の条件に該当する方は対象となりません。

- 他の奨学金等 (日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生、留学生の場合は本国からの奨学金等)の支援を受けている者。ただし、財団法人等による研究助成金の受給はこの限りではない。
- 授業料免除を受けている者、受ける予定の者
- 職に就いている者 (給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者)。または、給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者。または主婦・主夫。(なお、学生結婚のように単に婚姻したものであって、アルバイトや親の援助で生活しているようなケースについては、個別にご相談ください。)

2. 募集人数

6名

4月入学者:5名

10月入学者:1名

3. 募集日程

2021年度 (4月募集) の募集日程は以下のとおりです。

4月1日 (木) 募集開始 (WEBによるエントリー)

~~4月8日 (金)~~ **訂正: 4月9日 (金)** 募集締切

4月中旬 書類審査及び面接

4月下旬 奨学生の決定

5月上旬 キャリアパス支援プログラムの受講開始

5月下旬 フェロ-シップの支給開始

4. 応募方法

本制度への応募は、(a) 応募者情報の登録 (オンラインフォームによる登録) と、(b) 応募書類の提出 (オンラインアップロードページでの提出) により行ってください。

(a) 応募者情報の登録

以下のURLから登録フォームの入力をしてください。

<https://sanda.tufs.ac.jp/kenkyu/mirai/>

登録事項

1. メールアドレス
2. 氏名
3. フリガナ（ローマ字表記、全て小文字）
4. 生年月日
5. 受験番号
6. 専攻
7. 研究題目（現時点のもので良い）

(b) 応募書類の提出

フォームの登録が完了すると、登録したメールアドレスに必要な書類をアップロードするためのURLが届きますので、期日内にアップロードをしてください。

必要応募書類

1. 応募理由（様式自由*：1600字程度）
 2. 研究計画書（様式自由*：4000字程度）
 3. 博士前期課程の成績証明書
- * 応募理由書、研究計画書は、先頭行に氏名と専攻名を記載してください。

【応募理由書】

以下の点に触れながら、日本語1600字程度もしくは英語800words程度でこのプログラムへの志望動機、自分の研究・キャリアプランについて説明してください。ファイル形式はPDFにしてください。

- 自分はなぜこのプログラムに関心を持ったか。このプログラムのどのようなところが魅力的なのか
- 自分はどのような点でこのプログラムに適しているのか（これまでの経験、適性、将来プランに照らして）
- どのようなキャリアを作っていきたいか；自由にキャリアを選べるとしたらどのようなキャリアを選ぶか
- 今の研究者のキャリアパスについてどのような問題があると思うか。またどのようにそれを解決していく必要があると思うか
- 自分が探求しようとする研究課題は他の学問分野の研究や世界・社会の問題・課題とどのような関係にあるか
- どのような研究活動を通して関連分野の研究者やステークホルダーと協働していくか

【研究計画書】

博士後期課程で行う予定の研究の計画を日本語4000時程度もしくは英語2000words程度で説明してください。（出願時に提出したもので構いません。）ファイル形式はPDFにしてください。

【博士前期課程の成績証明書】

博士前期課程卒業時の成績証明書の写し。画像ファイルも受け付けます。ただし、必ず文字が認識できるものを提出してください。

ファイル名

ファイル名は以下のルールで付けて、アップロードしてください。

「フリガナ（ローマ字表記、全て小文字）」＋「1応募理由」or「2研究計画書」or「3成績証明書」.pdf

例 外語太郎さんの場合
gaigotaro1応募理由.pdf
gaigotaro2研究計画書.pdf
gaigotaro3成績証明書.pdf(画像ファイル形式も可：gaigotaro3成績証明書.png など)

5. 審査方法

書類審査により決定します。必要に応じて面接審査を実施することがあります。書類審査は応募時の提出書類を使用するほか、入学者選抜時の成績を考慮します。

6. 審査方針

【審査の観点】

- このプログラムで期待されている活動への意欲が強いのか
- 自分の研究上の関心やトピックについて、より大きな学問的及び社会的文脈での位置付け、価値づけが意識されているか
- 他の研究者やステークホルダーとの協働を作り出しながら研究を進めていく意欲が強いのか
- 企業や自治体をはじめ、幅広いステークホルダーのニーズに関心を持ち、自分の研究力をもってそのニーズに答え課題を解決することに関心が強いのか
- 大学教員職など従来のポストを超えて様々な進路の可能性を追求してみる意欲が強いのか

7. 奨学生の決定について

奨学生は4月下旬に決定します。本学HP上での発表を予定しています。奨学生に選ばれると、5月上旬からキャリアパス形成支援プログラムの受講が始まり、5月下旬からフェローシップの支給が開始されます。奨学生に選ばれると卒業までその身分が継続されますが、相当する理由があった場合は、途中で奨学生の資格を喪失することがあります。

【奨学生補欠候補者】

奨学生の中から資格喪失者があった場合、繰り上げて奨学生の資格を得ることができる学生として、応募者の中から奨学生補欠候補者が同時に選抜されます。資格喪失者の資格を引き継ぐことができるのは、資格喪失者と同一時期に選抜された補欠候補者に限ります。この場合、そのフェローシップの受給総額は、前資格者の残任期間相当となります。奨学生補欠候補者としての発表はありませんが、資格喪失者が出た際に発表されます。

8. 応募の注意

この制度に応募できるのは、入学時の一度のみです。この機会を失うと、奨学生、奨学生補欠候補者になれませんので、ご注意ください。

9. 備考

本制度は国立大学法人東京外国語大学多文化共生イノベーション研究育成フェローシップ規程に従います。